

9月28日、サン・パウロ州アラサツバ市のアラサツバ日伯文化協会において、当館が実施した平成13年度草の根無償資金協力「コンピューター職業訓練センター計画」により完成した同センター建物の引渡式が行われました。

アラサツバ日伯文化協会は、ノロエステ地方の日系社会の代表的な団体として各種事業を積極的に行っています。今般の協力は、同協会によるコンピューター職業訓練センターの建設について、その費用を無償提供したもので、今後、同センターではアラサツバ市の支援を受けて地域住民に対しコンピューター職業訓練が行われます。

アラサツバ日伯文化協会との間では、既に本年2月21日に本件に関する贈与契約署名式が実施され、米貨にして42,442ドルが供与されていました。

同式典には、ジョルジ・マルリ・ネット・アラサツバ市長、カズシ・シロイシ・アラサツバ日伯文化協会会長をはじめとする現地日系人関係者等のほか、当館から赤阪清隆総領事が出席しました。

両国国歌斉唱の後、建設されたコンピューター職業訓練センターのテープカット及び記念プレートの除幕、シンボルマークの張り付け、建物内部の視察等を行いました。引き続き、カズシ・シロイシ・アラサツバ日伯文化協会会長、ジロウ・イガラシ・ノロエステ連合日伯文化協会会長、ジョルジ・マルリ・ネット・アラサツバ市長等が祝辞を述べ、本件援助に対して謝意が表されました。これに対し赤阪清隆総領事が、同センターの活用、草の根レベルでの日伯友好が深まることを期待する旨の挨拶を行いました。

○上記案件のプロフィール

案件名：「コンピューター職業訓練センター計画」

被供与団体：アラサツバ日伯文化協会

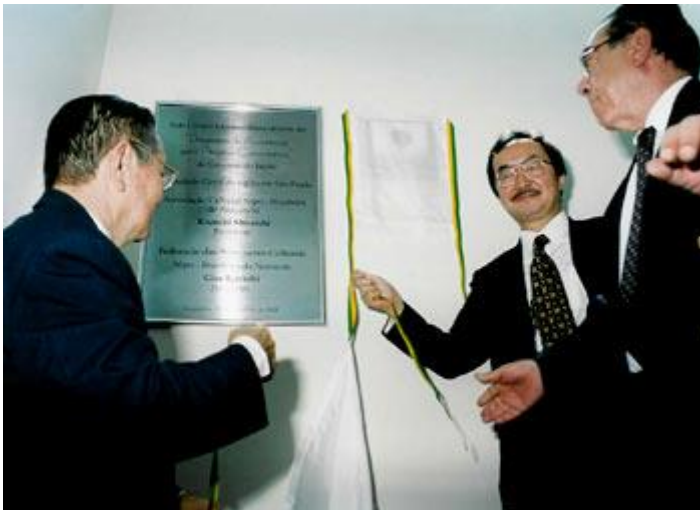
契約署名日：2002年2月21日

供与限度額：US\$42,442

案件概要：アラサツバ日伯文化協会によるコンピューター職業訓練センターの建設について、その費用を無償提供したもので、今後、同センターではアラサツバ市の支援を受けて地域住民に対しコンピューター職業訓練が行われます。



シンボルマークの張り付け



記念プレートの除幕



テープカット（ジョルジ・マルリ・ネット・アラサツバ市長、
カズシ・シロイシ・アラサツバ日伯文化協会会長、赤阪清隆総領事）